

# おお大勝利

平成 27 年度山東サッカー部報第 12 号 (9 月 19 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 8年ぶりの地区新人どまり・・・

9月12日(土)13日(日)村山地区の聖地「スポセン(or落合)」にて地区新人が行われました。他地区は実質2週に渡って地区新人を行い、総当たりなどをして、新チームでの順位を明確につけておりますが、チーム数の多い村山地区は2週使うのでは無理(3週必要でそれは実施不可能)。ということで、地区総体の順位をもとに4ブロックに分け、それぞれの1位と、あとは出場チーム数に応じた代表決定戦により、出場チームを決める。今年は、県総体ベスト4に村山地区から2つしか入らなかったの、登録人数・登録チーム数に応じて割り振られた4枠+2枠の計6チームが県新人に出場可能<sup>1</sup>。昨年は県総体のベスト4を村山地区が独占したので、地区新人では8枠あった。**山東の地区新人初戦の相手は山形商業!** 山商は、部報前号にて「メンバーのほとんどが県トレセン(県選抜)。超豪華なメンバーを擁する。」と書きましたように、強豪。何でそのチームと山東が初戦であいま見えるかということ、山東が地区総体で上位4チームに入れなかったのと、山商が今年の地区総体で敗退するポカをやらかしたので、こんなことに。抽選では、事情があり、山商が先にブロックに入っていたのを私が隣を引き当ててしまった。山商K監督は「山東何で隣引くんだよ～」と仰ってましたが、K先生、それはこちらが言うセリフです。「何で(県選抜)山商が下位チームの枠に入ってたんだよ(怒)。」

とまあ、こんな流れがありましたが、**勝てばいいんです**(初戦敗退だと代表決定戦にも回れず即敗退決定)。県選抜チームとは言え、地区総体で敗退したように、負けることもある。山東だってY1でだてに苦労していない。先週は米沢中央相手に、守備から入るしっかりとしたゲームをして、手に汗握る接戦を演じた(結果0-1の惜敗)。山東だって上り調子ですよ。いや、そもそも進学校には、新チームで公式戦をこなしチームとして戦ってきたアドバンテージがある。これまた部報前号の表現を借りれば、**豪華な「ステーキ丼」=山商が勝つか、シンプルだが奥の深い「卵かけご飯」=山東が勝つか、ガチンコ勝負だ!!**(と、一応試合前のテンションで書いてみました・・・は～虚しい)。

さて、試合は落合南。南側では野球場を建設中で、ボールが建設壁を何度も越えて、ボールがなくなるなくなる(もちろん一時的に)。ピッチは雨も上がり何とか乾いた状況。いつもの通り、**清野総監督(OB会名誉会長)、後藤報道局長**が駆けつけてくれる。**齋藤GKコーチ**も、お仕事やギャンブルで忙しい最中来て下さった。そしてサプライズでしたが、**トレーナーの志田さんと有路さん(ともにせりかわ整骨院)**も来て下さった。スタッフは万全。**保護者や引退した3年生、そして応援団千ア**も駆けつけている。**菅間校長**もいらっしやっている。こりゃ頑張らないと。試合のコンセプトとしては、米中戦でやったように、前から積極的にプレスをかけて「はめていき」、守備で玄人集団の流れを寸断し、ショートカウンターで仕留める試合を念頭に置く。

<sup>1</sup> 山形県では、登録人数・登録チーム数を基に配分される枠数(合計12枠)にプラスして、県総体準決勝に進んだチームのいる地区に残り4枠を与え、計16チームで県新人を行っています。

さあ、試合開始。試合が始まると、すぐ劣勢になる。ただ、悪い入りの時に顕著な、**曖昧なクリアによる劣勢**（クリアがショートし続けるとともに、大きくクリアできる状況でも態勢・状況の悪い味方に緩くパスし拾われ波状攻撃を受ける劣勢）であり、入りは超悪い（それを極悪と言っていいのでしょうか）。ただ、これは彼我のスキルの違いから始めから分かっていたこと。何とか耐えて、とっておりましたが、**いつまでたってもフラン通りいかない**。それもそのはずで、山東サイドの低い位置で、山商がプレスではめにいき、山東があたふたしてボールロストしショートカウンターを受ける、といった、**こちらがやりたいことを逆にやられる展開**。山商GKとDFのボール回しをはめていき・・・といっても、そんな展開に持ち込めていない（そこまでボールを運べていない）。守備では間延びし、個々の対応は緩く、アバウトなボールに対してヘディングで競らないことも多い、セカンドボールへの反応も悪い・・・とまあ良いところがない。正直、Y1 米中戦で出来たと思っていたことが幻だった（勘違いだった）ことを痛感させられる60分（1日2試合あるため30分ハーフ）。前半2失点の後半2失点で計0-4の完敗。

**山商は予想通り巧かったです、予想以上に！ 競り合いや運動量の面で素晴らしかった。**もうちょっと隙を見せてくれるかと思いましたが、何もさせてもらえませんでした。「流石のプレー」が多かった。山東としては、その相手の長を消す戦いをしなければならなかった。なぜそれが（もう少し）できなかったのか、いまだ自問しております。もちろん個々のプレー（特に失点シーン）では「あ～すれば防げた」「こーいう状態だったからやられた」などと分析できますが、全体として酷過ぎた・・・。**山商の次戦の東海大山形戦では、東海がハイプレスにより県選抜を3対1で一蹴。中学では「位が下だった」東海の選手たちが日頃のトレーニングの成果を出して山商の巧さを発揮させない戦いをしていました。**私は（負けチームに降りかかる2度目の）副審をしていて、「これこそまさに山東のしたかったサッカーだ」と思いました。もちろん東海さんからは「山東と一緒にしないでくれ」と言われそうですが、東海は激しい守備・素早い攻守の切り替え・ハードワークにより、スキルフル集団のストロングポイントをよく消していました。それができるかできないかが、山東と東海の差と言え、まさにその通り。**ともかくも、地区新人、「卯かけご飯TKG」の完敗!!!**（全国のTKGファンの皆さま、すみません）

タイトルにもありますが、これで**8年ぶりに県新人に出場できない**ことになりました。さすがに試合後は特に2年生がかなり落ち込んでいる。それもそのはず。山東の11月のスケジュールに、穴ができたんですから。寂しいですよ。そして2年生にとっては最後の県新人戦。出場して悔いが残るどころか、出場すらできない。8年ぶりとなりますが、私が赴任して10年で2回目です。8年前も初戦で負けましたが、シュート本数30対2くらいのワンサイドゲームで山東が決められず、相手に少ないチャンスを決められ敗退した。すなわち、力は十分にあった（そのチームは翌春県総体3位になる）。翻って、今年のチームはどうなのか。**力はあったが敗退した、と言えるのか。このままでは、今年のY1で皆の予想通り降格するどころか、来春県総体に出場できない（Mリーグを勝ちきれない）事態だってあり得る。**相当危機感を持っています。

ということで、流れ最悪ですが、シルバーウィーク中、県リーグがあります。それも**裏天王山第一弾の山形城北戦**。ここで負けると、7位以下が確定します<sup>2</sup>。こちら必死ですが相手も必死です。何とか頑張ってみます。応援よろしくお祈りします。

**9月21日（月）Y1第13節 山形城北戦 @米沢市営SF 16:00～**

<sup>2</sup> プリンスにいるモンテユースが残留し、Y1で1位の日大山形が昇格決定戦でM1（宮城県1部）で1位の東北高校に勝って昇格すると、7位も残留できます。